

ゴールデンウィークを控えて
～市民の皆様、そして飛騨高山を大切にしてくださる皆様へ～

全都道府県が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の中、ゴールデンウィークが近づいてまいりました。

市民の皆様も、外出自粛や景気低迷による生活不安など心労が積み重なっていることかと思えます。

近づいてきたゴールデンウィークは、いつもであれば、暖かな陽ざしに誘われ、ショッピングや旅行、地元の神社のお祭りなどそれぞれ楽しいひと時を過ごされていたかと思えます。

しかし今年は残念ながら、そうした状況にはありません。

本日は、つらいお願いを二つさせていただきます。

高山市は、国内外から多くのお客様にお越しいただける国内有数の観光都市であります。先人たちが残してくれた歴史景観、風土、文化に加え、豊かな自然、それに育まれる水や食、おもてなしを大切にする飛騨人の温かさは、私たち市民の誇りでもあります。

多くの観光客が訪れていただくことで、市内の経済は活性化し、高山市の持続的な発展を続けていくことができました。

一つ目のお願いは、飛騨高山を愛し、高山を訪ねていただく観光客の皆様へのお願いです。

高山市は良識と自覚ある市民のご協力のおかげをもちまして、本日まで市内における新型コロナウイルス感染症の感染者は出ておりません。飛騨の医療体制は、都市部と比べて脆弱であり、ひとたび感染者が出れば、たちまち医療崩壊に陥る危険性と向かい合わせの状況にあります。そのことを繰り返し周知し、良識ある市民のご協力のもと、感染者ゼロの状況を維持しています。

飛騨高山を愛し、この山あいの小さな町まで遠方からお越しいただける国内外の観光客の皆様には、日頃より感謝の気持ちしかございません。

ただ、上述のとおり飛騨地域の医療を守るため地域が一丸となって感染者を出さないよう取り組んでいる中、観光客の皆様の快適な滞在をご準備することができないと考えております。

国は全国一律の緊急事態宣言を発出し、県境を越えての移動について強く自粛を要請していますが、この考えに賛同します。

大変つらく、また失礼なお願いとなりますが、観光客の皆様には、緊急事態宣言下のこのゴールデンウィークについて、飛騨高山にお越しいただくことは、どうかお控えいただきますようお願い申し上げます。

この感染症が終息した時には、市民とともに心からの感謝と歓迎の気持ちで、皆様をお迎えさせていただきます。

ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

二つ目のお願いは、市民の皆様へのお願いです。

上述のとおり、高山を愛し、高山にお越しなられようという観光客の皆様は高山市長としてメッセージを発出いたしました。観光に携わる事業者の皆様には、飛騨の医療体制、市民を守るためのお願いであること、どうかご理解を賜りたいと存じます。合わせて、終息が見えてきた際には、皆様と一丸となって観光客の皆様を温かくお迎えできる環境をいち早く整え、国内外に飛騨高山の魅力を伝え、多くの観光客の皆様は安心してお越しいただけるよう最大限の取り組みをすることをお約束いたします。

ゴールデンウィークは、陽気に誘われ遠出したい気持ちになります。

ただ今年に限っては、全国的な感染を抑制に向かわせることができるかどうか、まさに正念場となります。市民の皆様には繰り返しとなりますが、不要不急の外出と三密(密閉空間・密集場所・密接場面)の徹底的な回避をお願いいたします。

合わせて、ゴールデンウィークを利用して、ふるさとへ帰ろうとくださるご家族やご友人がいらっしゃるかと思います。これは大変つらいお願いとなりますが、医療体制のことなど、今のふるさとの状況、市民の不安を共有いただき、緊急事態宣言が解除され、終息に向かうまでの帰省についてはお控えいただきますようお願い申し上げます。

ふるさと高山を出て都会の大学に通う子どもたちが、不安の中、都会で一人耐え忍ぶ姿を想像する時、本当につらく悲しい気持ちとなります。ふるさと飛騨高山は、高山で生まれ育った皆さんを誇りに思っていること、終息すれば、ふるさとはいつでも温かく迎え入れること、合わせてお伝えいただければ幸いです。

本日のお願いは本当につらいお願いでありました。

どうかご理解を賜れたらと思います。

令和2年4月24日

高山市長 國島芳明